

事例紹介

山口県光市立 ^{みい}三井小学校2人1組のドリルで、
共に学ぶ喜びを高める！

～eライブラリ×コミュニケーションで学びが広がる～

三井小学校は、単元のまとめのドリル学習やクイズ作成、保護者への連絡など、様々な場面でeライブラリを活用しています。今回は、児童間のコミュニケーションを意識した取り組みをご紹介します。

授業 2人組ドリル学習で、学びあう力を育てる

6年生担任の佐藤先生は、単元や学期末のまとめにドリルをよく活用しています。そこには、2人組で取り組むことで、共に学ぶ喜びを高めようとする先生の工夫がありました。

● 2人組でドリルに挑戦！

ドリル学習時は、学級を2人組コースと1人コースに分けています。パソコンが得意な子どもは立候補して1人でドリル学習を行い、それ以外の子どもたちは2人1組で行います。

パソコンや勉強が苦手な子どもでも、ペアを組んで友達と協力してドリル問題を解くことで、**コミュニケーションが生まれ、楽しく学習できる**そうです。「1人だけでなく、**2～3人でも勉強できるような学級を作ることが大切**です」と佐藤先生。子どもたちの性格や特性に合わせた学習方法を取り入れていました。

● 「なぜ？」も「できた！」も分かち合おう

間違えた問題やわからない問題があった時は、2人で教科書を読み返し、一緒に調べながら解決を図ります。

こうして**“なぜ？”を共有し、友達と協力して答えを見つけることで、正解した喜びや達成感を共有でき、1人で取り組む以上の意欲や集中力が生まれる**そうです。子どもたちは懸命に話し合いながら、授業の最後まで熱心に取り組んでいました。

情報担当 佐藤先生の思い

パソコンは1人1台の環境がないと不便だと思われがちですが、**グループで使うことでコミュニケーションが生まれ、積極的に友達と相談・協力する姿勢が育ちます**。また、45分間ドリルを一人で解き続けることが難しい子も、**2人でやれば楽しくてあっという間に時間が過ぎてしまいます**。

三井小学校では、eライブラリが学習内容の定着だけでなく、コミュニケーションツールとしても役立っています。

